



E a n c e
Hair Creation- 2026

E a n c e



イメージ動画

<https://youtu.be/pUBzKGA63Zk>

1. 名 称

Eance(エアンス)

「Eance」とは、コンセプトである「Effortless Elegance (気取らない上品さ)」の頭文字“E”と、「Nuance (表現)」を合わせた造語。

ヘアスタイルからファッションまで、気取らずに上品なおしゃれを楽しむという意味。

2. 対 象

ファッショントレンドの変化に関心が高く、自分らしいスタイルを大切にする、おしゃれ感度の高いレディス&メンズ。

3. 提案の趣旨

コンセプトは、“エフォートレスエレガンス”。

自然体でありながら上品さを感じさせるスタイルを意味し、ナチュラルテイストや着崩しを入れてドレスダウンした「気取らずに上品なおしゃれを楽しむ」ファッションスタイル。

理容師の持つファッション的感性を伝えるとともに、イメージアップを図ることで、儲かる業づくりに寄与する。

4. ヘアスタイルの特徴

- ①エフォートレスエレガンスをテーマとしたおしゃれ層に好まれるヘアデザイン。
- ②セიმレイヤーをベースに、ドレスダウンしたテイストを表現したヘアデザイン。
- ③メンズはピンパーマで、柔らかい動きとドレスダウンした雰囲気演出。
- ④ヘアカラーは、レディスはトレンドを取り入れたハイトーンカラー。メンズは日本人の黒髪を活かすハイライトで立体感と軽さをプラス。

発行日: 令和 7 年 7 月 2 日

発行: 全国理容生活衛生同業組合連合会 制作: Hair Creation- 2026 設定委員会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-36-4 TEL: 03-3379-4111



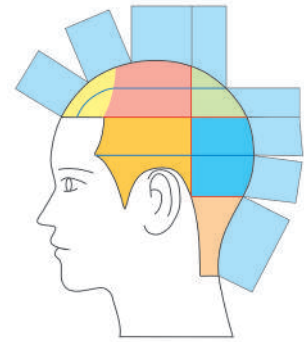
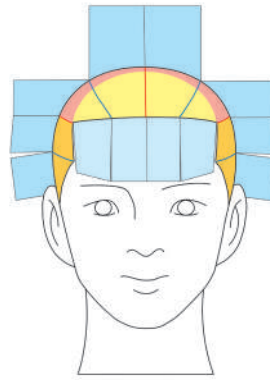
 E a n c e



Men's Style



Eance

 メンズ 技術プロセス動画
https://youtu.be/oDC5lz_PcmQ


ブロッキング

1 フロント



正確にカットプロセスを行うためにブロッキングを行う。トップをセンターで左右に分ける。

2 サイド



ビハインドサイヤーから直上にサイドラインをとる。サイドラインの1/2とフロントコーナーを水平なラインで結びトップとボトムに分ける。

3 クラウン・バック



左右のサイドライン1/2を水平に結び、ホーシューパート上でクラウンをとる。センターライン上1/2の高さからビハインドサイヤーを結ぶラインでバックとネープに分ける。

プライマリーシェープ

1 ネープ



ネープにガイドを作る。縦スライスで、30度ダウンステムに引き出し、6センチの長さにポイントカット。2パネル目以降はラウンド状に切り進める。

2 バックロウアー



バックを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで、ネープをガイドに15度ダウンステムに引き出しポイントカット。サイドラインまでラウンド状に切り進める。

3 バックアップパー



上段は下段をガイドに15度アップステムに引き出しポイントカット。下段同様、サイドラインまでラウンド状に切り進める。ラウンド状にパネルを引き出すため、引き出す角度に注意する。

4 サイドロウアー



サイドを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで、バック下段をガイドに15度ダウンステムに引き出しポイントカット。フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

5 サイドアップパー



バック上段・サイド下段のパネルをガイドに、上段は15度アップステムに引き出しポイントカット。下段同様、フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

6 クラウンロウアー



クラウンを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで水平に引き出し、バック上段の長さをガイドにポイントカット。サイドラインに向けてラウンド状に切り進める。

7 クラウンアッパー



上段は縦スライスで垂直に引き出し、下段の長さをガイドにポイントカット。サイドラインに向けてラウンド状に切り進める。

8 トップロウアー



トップを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで水平に引き出し、クラウン下段・サイド上段のパネルをガイドにポイントカット。フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

9 トップアッパー



上段は垂直に引き出し、下段をガイドにポイントカット。フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

10 チェックカット (トップ)



トップのチェックカットは、トップがスクエア状になるようにポイントカット。

11 フロント



フロントのカットは、横スライスをとり水平に引き出しポイントカット。

12 ハンドドライ



プライマリーシェーブ終了後、セカンダリーシェーブに入る前に髪を乾かす。

セカンダリーシェーブ

1 トップ・フロント



オンベースに引き出し、シザーはシンプルアングルの角度でモデレートの深さまでポイントカットを行い、トップのテクスチャー・ディテールを作る。フェイスラインに向けて5パネル程度切り進める。

2 クラウン



トップと同様、シザーはシンプルアングルの角度でモデレーートの深さまでポイントカットを行い、クラウンのテクスチャー・ディテールを作る。サイドラインに向けて4パネル程度切り進める。

3 サイド



クラウンと同様にポイントカットを行い、サイドのテクスチャー・ディテールを作る。

4 バック



サイドと同様にポイントカットを行い、バックのテクスチャー・ディテールを作る。

5 ネーブ①



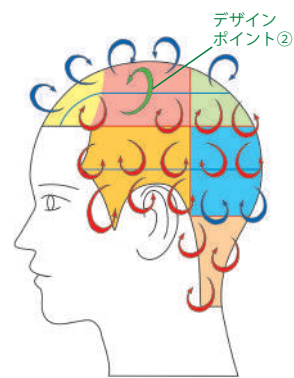
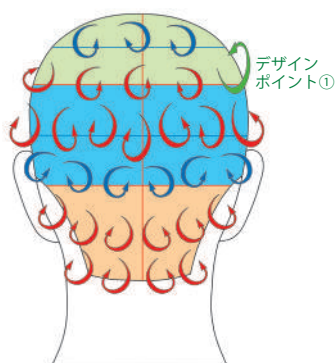
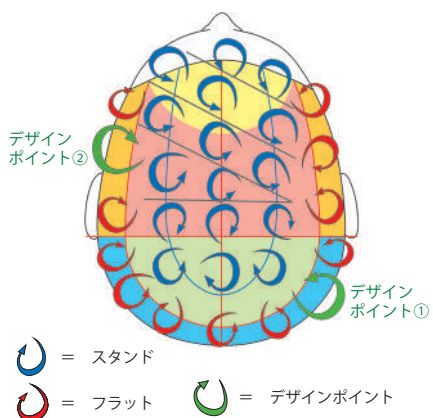
30度ダウンステムに引き出し、シザーはシンプルアングルの角度でモデレーートの深さまでポイントカットを行い、ネーブのテクスチャー・ディテールを作る。

6 ネーブ②



カットレザーを使用し、毛束感を強調したヘムラインを作る。

パーマ



1 塗布



全体にクリームタイプの薬剤を根元をあけて塗布。

2 毛束のみ(スライス)



パーマはすべてピンパーマで巻いていく。スライス幅は2cm。

3 毛束のみ(カール)



カールを付ける部分にテンションをかけ、JカールまたはCカールにワインディングする。

4 ネーブ



ネーブを1/2の高さで上下に分け、下段をフラットカールでフォワードヘJカールに巻き進める。上段も同様。

5 バック



バックを1/2の高さで上下に分け、下段はサイドラインから、スタンドアップカールでリバース、フォワード交互に、上段はフラットカールでフォワード、リバース交互に、Cカールに巻き進める。

6 サイド



サイドを1/2の高さで上下に分け、下段をフェイスラインから、フラットカールですべてリバースヘJカールに巻き進める。上段はフェイスラインから、フラットカールでリバース、フォワード交互にCカールに巻き進める。

7 クラウン



クラウンを1/2の高さで上下に分け、下段をフラットカールでフォワード、リバース交互にCカールに巻き進める。デザインポイント①の工程が入る。上段はスタンドアップカールで巻き進める。

8 フロント・トップ

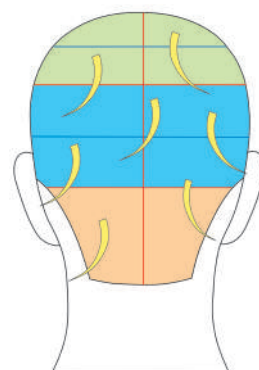
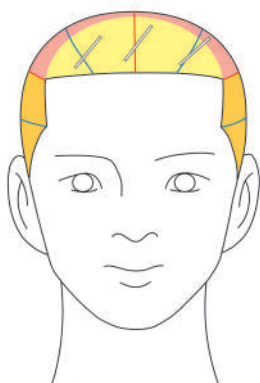


トップを1/2の高さで上下に分け、下段をフラットカールでフォワード、リバース交互にCカールに巻き進める。デザインポイント②の工程が入る。トップ上段とフロントは流す方向にバイアススライスを取り、スタンドアップカールでCカールに巻き進める。

Eanceのデザインポイント

- ①クラウン下段右側にスタンドアップカールの逆巻きでデザインポイントを入れる。
- ②トップ下段左側にスタンドアップカールの逆巻きでデザインポイントを入れる。

カラー



アンダーカラー

1 ブロッキング



ブリーチ剤を使用し、フロントに3枚、ホイールワークでアンダーカラーを入れる。1パネル目はセンターと左コーナーの1/2からフロントを1cmあげ、縦2mm、横3cmの幅、15度の角度でとる。

2 フロント①



2パネル目はセンターラインをまたぐように、フロントを1cmあげ、縦2mm、横3cmの幅、15度の角度でとる。

3 フロント②



3パネル目はセンターと右コーナーの1/2からフロントを1cmあげ、縦2mm、横3cmの幅、15度の角度でとる。

4 サイド・バック①



スイン(幅の薄い)ブラシやコームを使用し、1パーツあたり2~3カ所、部分的にアンダーカラーを入れる。筆を扱うようなイメージでブリーチ剤を塗布する。

5 サイド・バック②



逆サイドも同様に行い、シンメトリー(対称)にならないようにバランスよく配置する。

6 サイド・バック③



Eanceのイメージを意識して弧を描くように塗布する。

オンカラー

1 フロント



オンカラーを3枚のパネルに塗布。Eanceのイメージを表現する色調を選び、髪質に合わせ塩基性カラーや酸性カラーを使用する。今回は赤系を選定。

2 サイド・バック①



アンダーカラーを入れた箇所にオンカラーを入れる。

3 サイド・バック②



全体に馴染ませる。

ヘアスタイリング

1 フォーム



タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し、全体に揉み込み、まんべんなく馴染ませる。

2 ドライ スタイリング



ドライヤーを使用し、全体に形を整えながらスタイリングする。トップ、ネープはフォワード、サイドはリバーズ、フロントは立ち上げを意識する。

3 スタイリングオイル



スタイリングオイルを使用し、つや感を与えながらディテールを整える。

完成



フロント



右サイド



左サイド



バック

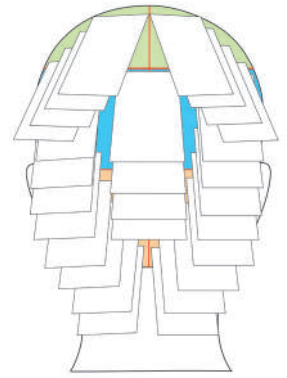
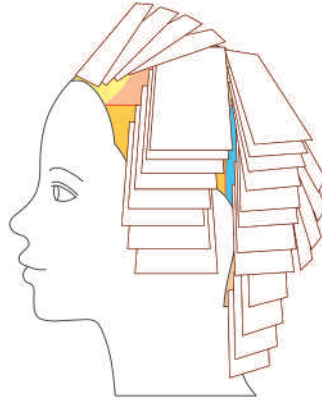
Ladie's Style



Eance

レディス 技術プロセス動画

<https://youtu.be/v6iNAQx1Y2k>



アンダーカラー

1 ネーブ



ネーブを1/2の高さで上下に分け、下段から、根元1.5cm程度あけてブリーチ剤を塗布する。丁寧にコーミングしながら行う。

2 バック・クラウン・サイド・トップ



バック、クラウン、サイド、トップの順に行う。それぞれの工程は、1/2の高さで上下に分け、下段から丁寧にコーミングしながら薬剤を塗布する。

3 塗布後



全体のトーンが上がってきたらアンダーカラーの次の工程を行う。

4 ネーブ



ムラができないように1パネルごとにペーパーを挟みながら根元を塗布。ネーブを1/2の高さで上下に分け、下段から、丁寧にコーミングしながら地肌につけないように薬剤を塗布する。

5 バック、クラウン、サイド、トップ



バック、クラウン、サイド、トップの順に行う。それぞれの工程は、1/2の高さで上下に分け、下段から丁寧にコーミングしながら地肌につけないように薬剤を塗布する。

6 フロント



フロントを前後に分け、丁寧にコーミングしながら地肌につけないように薬剤を塗布する。

ブロッキング

1 フロント



正確にカットプロセスを行うためにブロッキングを行う。トップをセンターで左右に分ける。

2 サイド

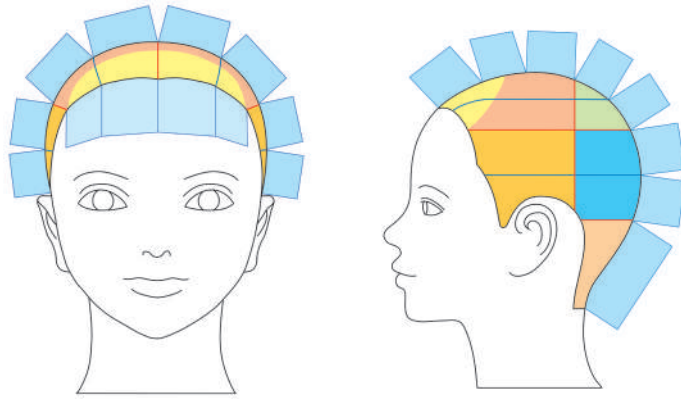


ビハインドザイヤーから直上にサイドラインをとる。サイドラインの1/2とフロントコーナーを水平なラインで結びトップとボトムに分ける。

3 クラウン・バック



左右のサイドライン1/2を水平に結び、ホーシューバート上でクラウンをとる。センターライン上1/2の高さからビハインドザイヤーを結ぶラインでバックとネーブに分ける。



プライマリーシェーブ

1 ネーブ



ネーブにガイドを作る。縦スライスで、30度ダウンシステムに引き出し、4.5cmの長さにポイントカット。2パネル目以降はラウンド状に切り進める。

2 バックロウアー



バックを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで、ネーブをガイドに15度ダウンシステムに引き出しポイントカット。サイドラインまでラウンド状に切り進める。

3 バックアップパー



上段は下段をガイドに15度アップシステムで引き出しポイントカット。下段同様、サイドラインまでラウンド状に切り進める。ラウンド状にパネルを引き出すため、引き出す角度に注意する。

4 サイドロウアー



サイドを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで、バック下段をガイドに15度ダウンシステムに引き出しポイントカット。フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

5 サイドアップパー



バック上段・サイド下段のパネルをガイドに、上段は15度アップシステムで引き出しポイントカット。下段同様、フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

6 クラウンロウアー



クラウンを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで30度アップシステムに引き出し、バック上段の長さをガイドにポイントカット。サイドラインに向けてラウンド状に切り進める。

7 クラウンアップパー



上段は縦スライスで67.5度アップシステムに引き出し、下段の長さをガイドにポイントカット。サイドラインに向けてラウンド状に切り進める。

8 トップロウアー



トップを1/2の高さで上下に分け、下段は縦スライスで30度アップシステムに引き出し、クラウン下段・サイド上段のパネルをガイドにポイントカット。フェイスラインに向けてラウンド状に切り進める。

9 トップアップパー



上段は67.5度アップシステムに引き出し、下段をガイドにラウンド状にポイントカット。

10 チェックカット(トップ)



トップのチェックカットは、トップのコーナーを馴染ませるようにポイントカット。

11 フロント



フロントのカットは、横スライスをとり水平に引き出し、額の半分を目安にポイントカット。バングの長さはモデルに合わせる。

12 ハンドドライ



プライマリーシェーブ終了後、セカンダリーシェーブに入る前に髪を乾かす。

セカンダリーシェープ

1 トップ・フロント



オープンベースに引き出し、シザーはシンプルアングルの角度でモデレートの深さまでポイントカットを行い、トップのテクスチャー・ディテールを作る。フェイスラインに向けて5パネル程度切り進める。

2 クラウン



トップと同様、シザーはシンプルアングルの角度でモデレートの深さまでポイントカットを行い、クラウンのテクスチャー・ディテールを作る。サイドラインに向けて4パネル程度切り進める。

3 サイド



クラウンと同様にポイントカットを行い、サイドのテクスチャー・ディテールを作る。

4 バック



サイドと同様にポイントカットを行い、バックのテクスチャー・ディテールを作る。

5 ネーブ①



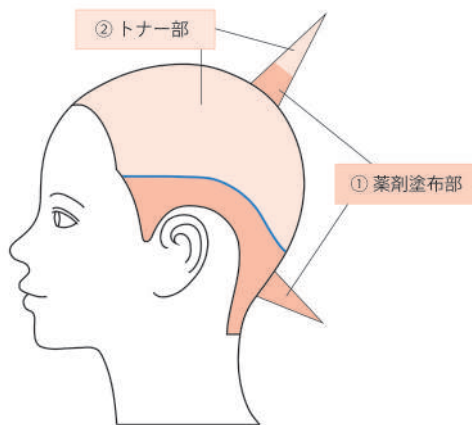
30度ダウンステムに引き出し、シザーはシンプルアングルの角度でモデレートの深さまでポイントカットを行い、ネーブのテクスチャー・ディテールを作る。

6 ネーブ②



カットレザーを使用し、フィットした馴染みのよいヘムラインを作る。

オンカラー



1 ネーブ



オンカラーは、アルカリカラーで、Eanceのイメージを表現する色調を選定。全体にカラー剤を髪の根元1.5cmに塗布する。

2 バック、クラウン、サイド、トップ



毛先につかないようにジャンボコムなどを使用して髪をよけながら塗布する。

3 トナー (塗布)



トナーをシャンプー台で行い、残したカラー剤を全体に塗布する。

4 トナー (乳化)



シャンプーボウルにお湯をため、乳化しながら全体に揉み込むようにカラー剤を馴染ませる。トナー終了後、シャンプーとトリートメントを行う。

Eanceのオンカラー (トナー)

トナーを行うことでブリーチの黄色味を抑え、色味を調整します。
トナーは髪の上に薄い膜を形成することで、ツヤや触り心地を向上させる効果も期待できます。

ヘアスタイリング

1 ドライ



タオルドライ後、ドライヤーを使用し、フォルムを整えながらスタイリングする。

2 スタイリング



女性らしい毛束感を出すため、うるおいの出るワックスを全体にまんべんなく馴染ませ、テクスチャーを作る。

3 デイテール



ボリュームを抑えながら、デイテールを整える。

完成



フロント



右サイド

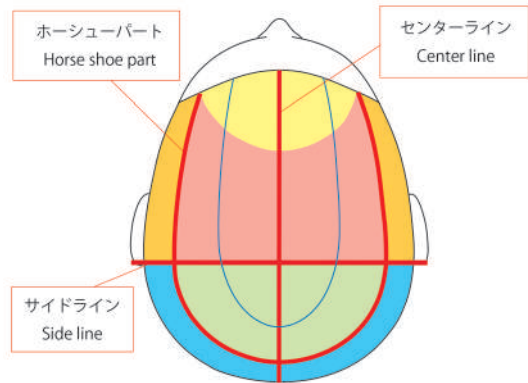
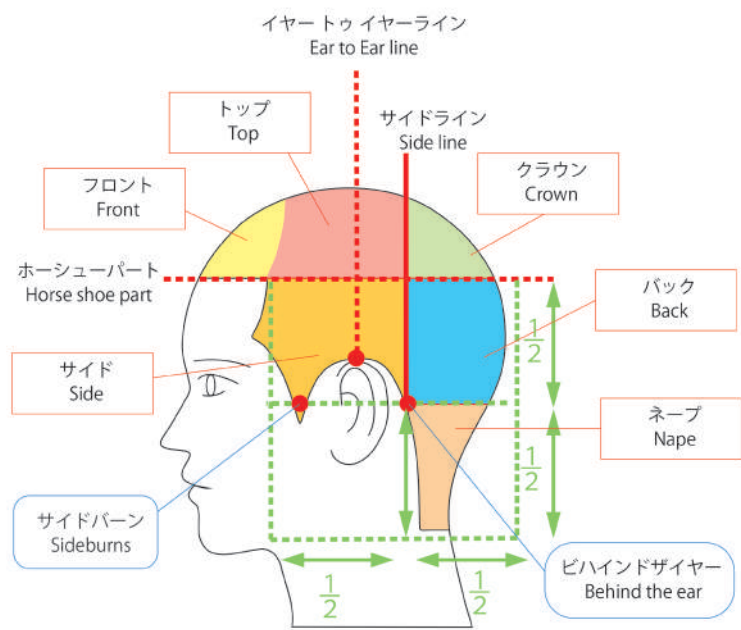


左サイド



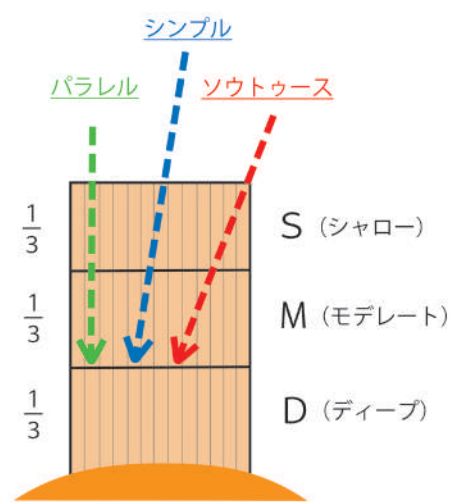
バック

用語解説



フロント	前髪周辺部。前面や正面にあたる部分。
トップ	頭の一番高い部分。頂上や天辺の意味。技術用語では頭頂部とも言う。
クラウン	後頭部上部。クラウンは王冠のことで、王冠は頭の一番上ではなく少し後頭部寄りにかぶるため「クラウン」と呼ぶようになった。
サイド	側頭部、耳の周辺部分。
バック	後頭部。後頭部は髪全体で言うと後面や背面にあたる。
ネーブ	襟足。
サイドバーン	もみあげ。耳際の髪が耳に沿って生え下がった部分。
ビハインドサイヤー	髪際線上にある乳様突起上部。

ポイントカット (チョップカット) の
角度 (アングル) と深度 (デプス)



**TAKARA
BELMONT**

Lebel

ALL YOUR OWN



FEATHER®



ARIMINO



FIOLE



ELECOM
LIFESTYLE **m** INNOVATION

Nobby
The declaration of beauty




GRAND
SCISSORS



Kiki

株式会社 ユウコークラフト

〒507-0061 岐阜県多治見市姫町 4-71

Tel: 0572-44-8099

 uk_craft

株式会社 髪美人

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-15-12-407

Tel: 03-6384-5156

 takaki.furumochi



E a n c e
Hair Creation- 2026